

## 第 8 回 運営推進会議

通所介護センターうらほろ

議

事

- 1      利用者の状況
- 2      感染対策について
- 3      令和2年度下半期事業報告
- 4      令和3年度事業計画

# 1 利用者の状況

令和3年2月現在

月曜日	男性	2人	上浦幌 中浦幌 市街
	女性	6人	
火曜日	男性	4人	上浦幌 中浦幌 市街 南浦幌
	女性	4人	
水曜日	男性	5人	上浦幌 中浦幌 市街 南浦幌
	女性	3人	
木曜日	男性	2人	上浦幌 中浦幌 市街 南浦幌
	女性	6人	
金曜日	男性	2人	上浦幌 中浦幌 市街
	女性	7人	

## 介 護 度

1	2	3	4	5
7名	7名	5名	0名	0名



## 2 感染症対策について

〈新型コロナウイルス感染症対策上半期からの追加事項〉

令和2年10月9日

各管理者による新型コロナウイルス感染症検討会議を開催

職員の体調不良時の相談窓口が変更される。

・北海道新型コロナウイルス感染症健康相談センター

・来道者・帰省者・転勤者相談ダイヤル



24時間対応0800-222-0018

職員は体調不良時には出勤せず、各管理者に連絡ののち、かかりつけ医又は上記に連絡することとなる。

以前までは、37.5℃以上の発熱が4日継続した場合だったが、基準が変更になり、個人の平熱を踏まえたうえで自己判断する。その他にも発熱は無いが、呼吸器症状や頭痛、全身倦怠感、嗅覚・味覚障害がみられる場合も、出勤せずに自宅待機し、管理者へ連絡したのち、かかりつけ医又は上記の相談窓口連絡することとなる。

### 【体調確認】

- ・毎日朝、体温測定をし、指定の用紙に記入、その他自覚症状、休日の行動、濃厚接触の可能性を記入、1週間分を記入後毎週月曜日に局長へ提出する。

### 【デイサービス】

- ・利用者に朝の送迎時からマスクの着用をお願いする。
- ・飲食時、入浴時以外はマスク着用をお願いする。
- ・飲食時はなるべく会話を少なくしてもらうよう声掛けする。

### 【アルコール消毒等】

- ・食器類は、以前までは熱湯消毒を行っていたが、食器用アルコール消毒に切り替える。

### 【その他】

- ・次亜塩素酸空間除菌脱臭機を導入。
- ・年末年始の過ごし方についての文書を作成し、利用者に配布。
- ・利用再開日より2週間の体調確認。

## 年末年始の過ごし方についてのお願い

平素より当デイサービスのご利用と運営に対し、ご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

さて、今年も早いもので12月も後半となりましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大が止まらない状況となっております。皆様のご協力のもと感染防止に努めてまいりましたが、今後におきましても感染対策をしっかりと行ってまいりたいと存じます。

そのために、年末年始の過ごし方について以下の点をご利用者様・ご家族様のご協力を賜りたく、お知らせいたします。

### 記

①浦幌町外や十勝管外からご自宅に來客や帰省があると思われるので、ご利用者様・ご家族様につきましては、マスクの着用、手指の消毒、定期的な換気等を行い、感染予防に努めて頂きますよう宜しくお願いいたします。

ご自宅以外での宿泊に関しましても感染予防を宜しくお願いいたします。

②年末年始中、來客や帰省、宿泊があった場合は、大変恐縮ではございますがデイサービスの連絡ノートに記載をお願いいたします。

例：1月〇日 帯広市 2名 2時間滞在

1月〇日 札幌市 3名 〇日～〇日まで滞在

③上記②をご利用日に見せていただき、その後2週間ほど健康について観察を行わせていただきます。何らかの症状が現れた時点で、ご利用を控えていただく等の対応をさせていただきますことでもありますので、ご協力をお願い申し上げます。

ご利用者様・ご家族様におかれましては大変なご不便とご迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力を宜しくお願い申し上げます。

以上



・各利用者の年末年始の來客、帰省等を集計し健康観察を行いました、

幸い体調の変化のあったご利用者は確認されませんでした。





### 3 令和2年度下半期事業報告

10月	16日 20日	お誕生会	<p>10月生まれの方は2名いらっしゃいました。散らし寿司などそれぞれ好きなものを昼食にお出ししました。おやつは手作りシフォンケーキを食べました。</p> <div data-bbox="740 611 1031 831"></div> <div data-bbox="1066 611 1340 831"></div> <div data-bbox="740 909 1031 1155"></div> <div data-bbox="1066 909 1340 1155"></div> <p>記念にお誕生日カードを手渡ししました。</p>
11月	12日	お誕生会	<p>11月生まれの方は1名いらっしゃいました。ご本人のお好きな五目御飯や揚げ出し豆腐を昼食にお出ししました。</p> <p>おやつはケーキを食べました。</p> <div data-bbox="735 1424 1031 1655"></div> <div data-bbox="1066 1424 1347 1655"></div> <div data-bbox="735 1731 1031 1973"></div>

12月	25日	クリスマス会	<p>クリスマスにちなんだお食事とジュースをいただきました。おやつにはスポンジケーキにクリームを塗り、チョコペンで皆様のお名前を書いた手作りケーキを食べました。</p>    
	26日	年越しそば	<p>ボランティアの方に打っていただいた蕎麦を、もりそばにし、昼食にお出ししました。皆さんとても喜ばれていました。</p>    

<p>1 月</p>	<p>12日 22日 26日</p>	<p>お 誕 生 会</p>	<p>1月生まれの方は3名いらっしゃいました。それぞれのお好きなものを昼食にお出ししました。おやつにはケーキを食べました。</p> <div data-bbox="740 432 1024 676">  </div> <div data-bbox="1075 432 1370 676">  </div> <div data-bbox="719 761 1013 981">  </div> <div data-bbox="1064 748 1370 981">  </div> <div data-bbox="719 1037 1013 1317">  </div>
------------	----------------------------	----------------	--

2 月	2 日	節 分	<p data-bbox="719 264 1347 344">職員が鬼となり、利用者様に豆まきを行ってもらいました。皆様とても笑顔で、力強く豆をぶつけてもらいました。</p> <div data-bbox="719 371 991 618">  </div> <div data-bbox="1023 371 1302 618">  </div> <div data-bbox="719 685 999 931">  </div> <div data-bbox="1031 685 1318 931">  </div> <div data-bbox="711 1021 1382 1469">  </div>
-----	-----	-----	---

	19日	お 誕 生 会	<p>2月生まれの方は1名いらっしゃいました。ご本人のお好きなものを昼食にお出ししました。おやつにケーキを食べました。</p> <div data-bbox="740 380 1027 624" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1059 387 1340 627" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="740 660 1027 922" data-label="Image"> </div>
3月	3日	ひ な 祭 り お 誕 生 会	<p>3月3日生まれの利用者の方がいた為、ひな祭りとお誕生会を行いました。ひなあられや甘酒をいただき、昼食には、稲荷ずしや茶わん蒸し、おやつには手作りケーキをいただきました。</p> <div data-bbox="718 1149 999 1397" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1031 1149 1305 1397" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="716 1438 997 1682" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1031 1444 1310 1684" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="713 1702 1018 1944" data-label="Image"> </div>



	17日	お誕生会	<p>3月生まれの方がもう1名いらっしゃいました。ご本人のお好きなお赤飯や牛肉のステーキ等をいただきました。ご本人も「年に1回しか食べられない」と話され、とても喜ばれていました。</p> 
--	-----	------	--

今年度に関しましては、新型コロナウイルスの終息が見えず、外出レクを行うことができませんでした。来年度は、感染状況もありますが、少しずつ外出する機会を設けていけたらと思っております。

#### 【内部研修会】

令和2年10月27日(火)18:00～19:00

片麻痺利用者の入浴介助について

令和2年12月22日(火)18:00～19:00

避難訓練について

令和3年1月26日(火)18:00～19:00

車両内における感染対策について

## 研 修 報 告 書

所 属	通所介護	氏 名	立花 容子
日 時	令和2年10月27日(火)18:00～19:00		
研 修 名	片麻痺利用者の入浴介助について見直してみよう。		
目 的	<p>片麻痺利用者の入浴介助を行うにあたり、自分のやり方はあっているのか？利用者の不安に繋がっていないか、自分も介助をするのに不安なことはないか？等を職員で話し合い、意見を共有し、今後の入浴介助に活かしていく。</p>		
場 所	デイサービス浴室		
研修内容	<p>①脱衣場(入浴前)・・・下衣を脱衣する場合、手すりにつかまり立っていただくが、手すりに対して、車椅子の位置はあっているのか検証した。職員それぞれが右片麻痺利用者になってみて、立ち上がってみた。健常者は真っすぐ上に立ち上がることができるが、片麻痺利用者が立ち上がる際は、頭部を下げ(お辞儀したような姿勢)た状態から前方に向かって立ち上がるため、手すり的車いすの位置が近いと頭部が壁にぶつかってしまい立ち上がりにくいことがわかった。介助者側からでは理解できていなかったことが、実際自分で体験することにより、介助される側の不安等が理解できたと思われる。</p>		
	<p>②浴室にて・・・通常、右足に補装具を付けているが、入浴中は補装具を付けない為、立ち上がる際に、介助者が右足を押さえるが、押さえる足の位置について、実際に体験して、どこに足を置いたほうが良いのか検討した。右足を前に置くことにより、本人が立ち上がれない為、右足を、左足に対して約一足分後ろに置くことにより、本人の負担が少なく立ち上がりやすいことを改めて確認。本来であれば入浴中であっても、立ち上がる際は、補装具を装着しなくてはならないが、本人の希望で(補装具が濡れるのが嫌)付けていない。今後、身体的に変化がみられてきた場合、再度補装具装着について検討していく。</p>		
	<p>その他浴室内では、立ち上がる際の手すりの位置について検討した。現在は浴槽についている手すりを使用している。その為、手すりに対して身体が若干斜めになっている。従来であれば、浴室へ入り突き当りの手すりを使用するが、本人は、長年浴槽の手すりを使用している為、このやり方のほうが良いと思うが、違う方法があるのではないかという意見のもと、検討してみた。浴室突き当りの手すりを使用した場合、立ち上がりやすいが、回転椅子に座ったあと、浴槽内に足を入れ足浴するのに、椅子を動かさなくてはならない為(椅子に車輪無し)本人の、体重もあり、車輪付きの椅子でなければ困難ではないかという結論となる。車輪付きの椅子に関しては、物品庫にあるが、椅子に高さがあり、利用者が座りにくい状況。立ち上がる際は、従来通り浴槽の手すりを使用することになった。その為、手すりに対して、車椅子や、回転椅子の位置について検討する。できる限り手すりに対し身体は真っすぐにするほうが良いとの意見があり、車椅子の角度や、浴槽から足を出した後の回転椅子の角度を改めて職員全員で再確認した。</p>		
	<p>③脱衣場(入浴後)・・・入浴後の対応について確認する。浴室内で車椅子に移乗後、脱衣場へ移動、本人の足元に足ふきマットを1枚敷く。本人に身体を拭いてもらう。衣服の着衣は一部介助にて行う。最後に立ち上がってもらう際、職員は本人の足元にゴムマットを敷く、足の水分を十分ふき取る、本人の右足を足底が床についているか確認しながら踏む(本人の希望)、本人に声掛けしながら、完全に立位がとれていることを確認後、下衣の介助を行う。下衣の介助をする際の、職員の立ち位置についても、それぞれ違うため、意見交換を行う。</p>		
	<p>①本人と車椅子の間に入り介助を行う。②本人の右側から介助を行う。③本人、車椅子のさらに後ろから介助を行う。すべての介助方法について話し合った結果、職員間でも身体の大きさの差がある為、方法を1つに絞らない</p>		





感想	こととし、今後も利用者にとって、安心、安全な介助をしていくということで意見は一致した。
	今回の研修を行うにあたり、介助方法は理解できていたとしても、利用者それぞれの機能を理解した上で介助ができているのかを改めて見直す良い機会になったのではないかと思われた。
	利用者一人一人にそれぞれの残存機能があり、その部分を活かしていく介護をしていくことで、在宅生活が維持できるのではないかと考えられる。
	本人のできるところを手伝うのではなく、本人のできないところを少し手伝うことで、できるようになることがあるということを理解し介護にあたっていきたいと思う。
	今後は、入浴介助だけではなく、着脱介助、排泄介助、食事介助、移乗・移動介助等の研修を定期的に行っていきたいと思う。





# 研修報告書







所 属	通所介護	氏 名	立花 容子
日 時	令和2年12月22日(火)18:00~19:00		
研 修 名	災害時避難について改めて考えてみよう		
目 的	<p>保健福祉センター全体の避難訓練には参加していたが、社会福祉協議会独自の避難訓練は行ったことがない</p> <p>避難する際は、利用者や職員全員がデイルームにいるわけではない。浴室やトイレにいた場合はどうするのか？</p> <p>参加者にて話し合い、災害時マニュアルを作成し、避難訓練を行う。</p>		
場 所	デイルーム		
研 修 内 容	<p>まずは、保健福祉センターの避難訓練を振り返ってみた。①管理者は事務所に行き、助けを求める。</p> <p>①に関して→内線で良いのでは？という意見があり。火の元の場所により、事務局まで行けない可能性は十分にある為、内線で救助要請も視野に入れる。</p> <p>②浴室や、トイレにいた場合どうするのか？→正面玄関付近のトイレにいた場合は、そのまま正面玄関から避難する。デイサービスのトイレにいた場合は、管理者や、相談員がトイレに火災等の旨を報告し、廊下側非常口より避難する。</p> <p>浴室にいた場合→入浴中の利用者がいた場合どうするのか？参加者全員で話し合う。</p> <p>・利用者一人に対して職員が一人ついてる状態だが、火の元(ふれあいキッチン等)によっては、脱衣場から避難出来ないことも考えられる。その場合、唯一避難できる場所は、浴室内の窓となる。仮にふれあいキッチンからの出火であった場合、デイルームから脱衣場まで救助に行けない為、非常口より外を回り、浴室窓へ行き、救助することとなるが、高さがあり、利用者を持ち上げることができない可能性がある。さらに利用者は全裸の状態である場合、衣服をどうするのか？毛布でくるむのか？等色々な意見があった。</p> <p>他の意見として、消防が来るまで、浴室内に待機していたほうが良いのでは？との意見が上がる。</p> <p>浦幌消防に一度デイサービス内、浴室内を見てもらい、避難経路、救助方法の確認をすべきとの事で、年明けに消防へ連絡することとなる。</p> <p>・参加者で、消火器の位置を確認する。デイサービス向かいの集会室入ってすぐ左下に消火器がある。</p> <p>仮にデイサービスにて火災が発生した場合、初期消火をする為、消火器の使い方についても再確認が必要。</p> <p>職員全員が消火器が使用できるようにしておく。消火器に関して、デイルーム内にもあったほうが良いのではとの意見が上がる。</p>		
感 想	<p>毎年、保健福祉センターの避難訓練に参加していたが、あらかじめ利用者にお話しし、サイレンがなるまでデイルームにて待機している状態で、トイレ誘導時や入浴中の場合はどう避難するのが不明なままだった。</p> <p>ふれあいでは職員の避難より、利用者の避難方法を確認、訓練しなくてはならない為、今回の研修で上がった意見をもとに、避難訓練、避難訓練マニュアルの作成を進めていきたいと思う。</p>		







# 研修報告書

所 属	訪問・通所介護合同	氏 名	木村幸子 横田道子
日 時	令和3年1月26日(火)18:00～19:00		
研 修 名	車両に配置する感染予防キットの説明、一連の動作の確認		
目 的	各活動車に、感染予防キットを配置するにあたり、各職員にどのような物品があり、どのように使用するのかを周知し、訪問・通所介護における車両使用時に、利用者が嘔吐した場合の一連の動作を確認する。		
場 所	ふれあいデイルーム		
研修内容	始めに、参加者を2グループに分けた。Aグループ→守田、立花、佐藤、野村(担当木村)		
	Bグループ→大山、山崎、熊川、高田(担当横田)		
	各グループにて、現在福祉有償運送車両にて使用している感染キットの物品内容の確認を行った。		
	紫色ボックスの中身		
	①	②	③
			
	④	⑤	⑥
			
	⑤→新聞紙数枚、下がゴミ袋、上が嘔吐袋、ウェットティッシュ(アルコールタイプ)、ペーパータオル		
	⑥→(マスク2枚、グローブ2組、フットカバー2組、エプロン1枚、ヘアキャップ1枚)×3人分+予備用		
これらの物品内容の確認をしつつ、実際にエプロンや、フットカバー、ヘアキャップを各グループで着用してみた。			
次に、各グループ内での意見交換を行った。			
Aグループからの意見～嘔吐袋がボックスの一番上にあるが、この場合だと、利用者が嘔吐しそうになった時に、職員はすぐ嘔吐袋を利用者に手渡せないのではないか？職員に手がすぐ届くところ袋があったほうが良い。グローブは現在Mサイズしかないが、Lサイズのものがあれば良い。ボックスの内容の書かれた用紙があるが、不明な点もある為、作成し直してほしい。活動車用の写真を取り直したほうが良い。			
Bグループからの意見～嘔吐袋のサイズが小さい気がする、ノコの嘔吐はかなりの量だと思われる。			
①グローブ②エプロン③ヘアキャップ④フットカバーの順番につけたほうが良い。			

研修内容	利用者が嘔吐しそう、又は嘔吐した場合、まずは運転手に車を停車してもらう。
	他の利用者にもエプロン等を付けるのか？他利用者を外に出したほうが良いのではない？冬期間は防護
	服を着てもらって外で待機した方が良いのではない？デイスサービス到着してもすぐには入らないほうが良い
	のではない？利用者が嘔吐した場合、まず何をしたらいいか？→利用者の体調の確認(表情、血圧、脈)
	嘔吐が治まるまで待つ。その後嘔吐物処理に入る。デイスサービス利用は可能か？嘔吐した利用者や職員、
	同乗者、運転手の経過観察はどうするのか？
	嘔吐袋にナイロン袋をかぶせる→洗濯バサミ2個で洋服につける→両手が開くので便利、さらに口を拭いた
感想	ティッシュ等もそこに入れられるので便利。
	その後一連の動作を確認予定だったが、まずは各グループから出た意見をまとめ、精査したうえで再度研修会
	を開催するべきとの意見が上がり、今回の研修は終了した。
	木村～感染キットの物品をみんなで確認できたことは良かったと思う。プリントをただ渡すより、見て触ること
	により、緊急時に落ち着いて行動できるのではないかと感じた。実際に一式身に着けてくれた職員もいて良かった
	と思う。様々な意見が上がり、これらの意見を精査し、感染マニュアルの作成ができればと思う。
	横田～1つ1つの動作にもどうしたら良いか迷うことが多く、実際に物品を使用し実行してみないとわからない事が
	あった。物品の内容をきちんと把握することにより、利用者の異変時に素早く対処できるのではないかと感じた。
	今後も定期的に研修を行い、職員間で学んでいけたらと思う。

令和3年 4月 1日

様

浦幌町社会福祉協議会  
会長 村 瀬 政 昭

## 第8回 通所介護センターうらほろ運営推進会議の書面会議による開催 のご案内

日頃より、本会デイサービスの推進について格別のご協力を頂き、厚くお礼申し上げます。

このたび、令和3年3月に開催を予定していた第8回運営推進会議について、新型コロナウイルス感染症が完全に収束されていないことを鑑み、皆様の健康・安全を第一に熟考した結果、誠に恐縮ではございますが、書面会議による開催としますのでお知らせいたします。

つきましては、本書に同封いたします議案書をご確認して頂き、別紙の「意見聴取書」に意見等を記入し、返送して頂くことにより皆様からの意見を頂くこととします。

書面会議とすることについて、新型コロナウイルスの感染拡大防止対策であることに何卒ご容赦くださいますようお願い申し上げます。

### 記

#### 1. 意見聴取書 別紙のとおり

「意見聴取書」にご記入頂き、同封の返信用封筒により  
4月末日頃までにご返信いただきますようお願い申し上げます。

#### 2. そ の 他 議案書の内容について、ご不明な点がございましたら、社会福祉協議会（通所介護センターうらほろ）までお問い合わせください。

（浦幌町社会福祉協議会 通所介護センターうらほろ  
電話 576-5566）

通所介護センターうらほろ  
担当 横田 道子





## 第8回通所介護センターうらほろ運営推進会議

### 書面会議 「結果書」

第8回通所介護センターうらほろ運営推進会議の議案についての意見を、書面により聴取した結果を下記の通り報告します。

#### 1 利用者状況について

各構成員からの意見

(意見)

1年間の利用者の状況～実人員、延人員、稼働率はどうになっているか。

(回答)

4月	実人員	介護1=6	介護2=5	介護3=6	介護5=1	合計18
	延人員	介護1=34	介護2=40	介護3=73	介護5=2	合計149
5月	実人員	介護1=5	介護2=6	介護3=6	介護5=1	合計18
	延人員	介護1=30	介護2=35	介護3=66	介護5=2	合計133
6月	実人員	介護1=6	介護2=7	介護3=6	介護5=1	合計20
	延人員	介護1=38	介護2=52	介護3=80	介護5=3	合計173
7月	実人員	介護1=6	介護2=7	介護3=6	介護5=1	合計20
	延人員	介護1=39	介護2=55	介護3=72	介護5=2	合計168
8月	実人員	介護1=6	介護2=7	介護3=5	介護5=1	合計19
	延人員	介護1=42	介護2=44	介護3=58	介護5=1	合計145
9月	実人員	介護1=6	介護2=6	介護3=5	介護5=1	合計18
	延人員	介護1=41	介護2=43	介護3=61	介護5=4	合計149
10月	実人員	介護1=6	介護2=7	介護3=5	介護5=1	合計19
	延人員	介護1=34	介護2=64	介護3=66	介護5=3	合計167

11 月	実人員	介護 1=6	介護 2=7	介護 3=5	介護 5=1	合計 19
	延人員	介護 1=28	介護 2=56	介護 3=56	介護 5=1	合計 141
12 月	実人員	介護 1=6	介護 2=7	介護 3=5		合計 18
	延人員	介護 1=38	介護 2=61	介護 3=60		合計 159
1 月	実人員	介護 1=7	介護 2=7	介護 3=5		合計 19
	延人員	介護 1=30	介護 2=44	介護 3=39		合計 113
2 月	実人員	介護 1=7	介護 2=7	介護 3=5		合計 19
	延人員	介護 1=34	介護 2=45	介護 3=56		合計 135
3 月	実人員	介護 1=7	介護 2=7	介護 3=5		合計 19
	延人員	介護 1=43	介護 2=52	介護 3=56		合計 151

#### 稼働率

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
6 3 %	6 6 %	6 9 %	7 2 %	6 3 %	6 3 %
1 0 月	1 1 月	1 2 月	1 月	2 月	3 月
6 7 %	6 8 %	6 2 %	5 8 %	6 6 %	5 8 %

以上となっております。

## 2 感染症対策について

各構成員からの意見

(意見)

- ・食器をアルコール消毒している理由は何か？

熱湯消毒や、塩素系消毒剤がノロウイルスなどの感染症では有効であると言われている。また、界面活性剤入り洗剤では、新型コロナウイルスの数を減少させ、効果があると言われている。物品により消毒方法の選択を再度検討した方が良いと考える。

(回答)

- ・貴重なご意見ありがとうございます。再度検討いたします。

(意見)

- ・いつも感染対策にご尽力されて大変と思います。ワクチン接種も今月末からと聞いて

おります。大変と思いますが、感染予防に頑張ってくださいと思います。

(回答)

・ありがとうございます。これからも感染予防に努めてまいります。

### 3 令和2年下半期事業報告について

各構成員からの意見

(意見)

・ヒヤリハットや、事故報告は無かったのでしょうか？

(回答)

・ご報告せず申し訳ございません。事故報告は2件ございます。6/9正面玄関にて車椅子に座っていた利用者様がその場に立ち上がり、フットレストをまたいで座りなおそうとしたところ、座りが浅く、フットレストに座ってしまった。痛み外傷なし→(対策)職員が一瞬目を離した隙の出来事の為、利用者様から目を離さないことを徹底する。

11/19 利用者様が車両から降りる際、車両に高さがある為、踏み台を使用しているが、踏み台においた足の位置が前方にあった為踏み台が前方へ傾き、身体のバランスが崩れた為、ゆっくり踏み台に尻もちをついてしまった。痛み、外傷なし。→(対策)踏み台と足の位置を必ず確認する。踏み台がぐらつかないように職員が固定する。

ヒヤリハットは、4件ございます。R2.4/27朝の送迎時、右大腿骨骨折後、補装具を付けていたご利用者様が、補装具を付けずにデイサービスへ来てしまった。送迎の職員が自宅を出る前に補装具を付けているか確認するのを怠った。→(対策)朝の送迎時に必ず確認する。

5/8 パンの移動販売日に利用者様がパンを購入したが、パンを事務所で預からせてもらった。帰宅時に持って帰ろうとしたが、忘れて帰宅してしまい、本人が帰宅後、自宅まで届けた。→(対策)忘れないように職員間で情報を共有する。送迎時同乗する職員が忘れないように意識する。

6/3 朝の送迎時、利用者様が、他利用者様の庭に咲いているサボテンを分けてほしいと希望があった。同乗していた職員は、気を利かせ他利用者様のご家族へサボテンを分けてほしいとお話した。事務所へ戻った際、管理者へ報告したところ、利用者同士の物のやり取りはできない事を初めて知った。管理者より、双方の利用者様に謝罪した。→(対策)管理者より、デイサービス利用中は利用者同士の物のやり取りは控えてもらうよ

う、職員に指導していく。利用者様に誤解を与えるような言動をしないよう心掛ける。

7/14 利用者様が、ズボンのポケットより、朝薬を取り出し、服用しようとした。本人に現在は朝ではなく昼の時間ということをお話しし、回収する。本人少し不満そうだったが納得された。

→（対策）朝、デイサービスへ到着してすぐ、本人のズボンのポケットをさりげなく確認し、薬が入っていた場合、回収し、ご家族へ返却する。

（意見）

研修を重ねることで、職員のスキルアップにつなげていくことは大切なことと考えています。今後も継続していくことを望みます。

（回答）

貴重なご意見ありがとうございます。今後も随時研修を行ってまいります。

#### 4 令和3年度事業計画について

各構成員からの意見

（意見）

運営推進会議設置要綱第6条3において「下半期10月～3月で一回以上開催する」となっている。令和2年度は上半期10月、下半期は4月に書面会議となり、適切な開催時期に開催すべきと考えます。

（回答）

大変申し訳ございません。今年度は適切な時期に開催できるよう努めてまいります。

（意見）

感染対策をしながら行事ができることを望みます。

（回答）

昨年度は、外出レクを行うにあたり、外部の方々との接触の可能性があったため、外出レクを中止しておりました。現在ワクチン接種も開始となったため、再度外出に関して検討してまいりたいと思います。

## 5 その他について

各構成員からの意見

(意見)

定員が少ない為、必要な方がいても通所できない事があります。待機者の状況と、利用順番はどのようになっていますか？明確に記されているものがありますか？

(回答)

ご利用順番に関しては、・お住まいの地域・送迎ルート確保・ご希望の曜日、ご利用回数等で随時検討している為、明確に記されているものはございません。

お住まいの地域に関しましては、当デイサービスでは、曜日によってご利用できる地域を限定していないため、現在利用されているご利用者様と同じ地域、又は送迎ルートが同等である場合は送迎が可能と判断しております。お住まいの地域によっては（浦幌市街以外）送迎が困難と判断する場合があります、ご利用をお待ちいただく場合がございます。送迎ルートの確保に関しましては、当デイサービスのほかに訪問介護事業、福祉有償運送事業、この3つの事業が共同で車両を使用し、運転業務に関しては兼務しております。その為、車両の確保、運転手の確保、同乗者の確保ができない場合には、定員9名に対し、空きがある場合でもお待ちいただくこともございます。

必要な方々がおられるのは重々承知しておりますが、何卒ご理解いただければと思います。

